

平成31年2月19日
西部農林振興センター益田事務所農業普及部

標題

放牧牛用給水器製作実証・研修会を開催！
～集落放牧の仲間たちと放牧牛の給水器を作りました。～

(ダイジェスト)

2月2日(土)、益田市美濃地町の(農)城九郎を会場に、給水が困難な場所でも牛の放牧を開始できる移動給水器の普及を目的に製作実証研修会を開催しました。集落法人の若手は勤め人が多いことから休日開催としました。

集落放牧を実践中の近隣法人の参加もあり、活気のある研修会になりました。

1 経過等

(農)城九郎では、平成28年度から有害鳥獣による農作物被害対策としてレンタル放牧を行っています。

当初2年間は島根県中山間地域研究センターの「お試し放牧」制度を利用し、30年度は西いわみ地域のレンタル放牧制度を利用されました。

これまでは、電牧機一式と給水器は借用していましたが、「『集落放牧を止めたい』と言う人が1人もいない。集落放牧は一度始めると止められない(=(農)城九郎・総務部長談)。」など集落放牧の評価は高く、継続のため給水器を一式揃えることになりました。

2 当日の様子

当初、完成までに2時間程度を予定していましたが、参加者には電気工事のプロフェッショナルもおられ、放牧用給水器の製作は未経験ながら1時間30分で完成しました。

参加者は、若くて元気な人が多く、参加できなかった仲間にラインを使って研修状況を伝える様子も見られました。

この製作実習を通じて給水器の仕組みと製作方法が理解され、給水器の増設や修繕なども地元でできるようになりました。また、他の集落法人等にも、給水が困難な場所でも給水器を設置して放牧を開始できることを周知したいと思います。

